



兵庫県議会議員 農政環境常任委員会委員

第22号

## 春名 哲夫 県政報告

■発行日 平成29年3月26日

■発行者 春名 哲夫

◀第335回定例県議会で一般質問に立ちました

次代の森林林業を担い、幅広く地域貢献できる人材を養成する専修学校として、待望の兵庫県立森林大学校が、私たちのふるさと宍粟市にオープンします。県政報告第18号で報告しましたが、学校推薦・一般前期・一般後期の3回の試験に25名が応募し20名の入学が決定しました。一宮市民局第2庁舎で1年間、平成30年4月以降は染河内小学校の閉校跡に移転し、森林に関する知識や技術等習得いたします。4月13日には井戸知事、名誉校長に就任していただきました兵庫県庁で勤務経験があり、林野庁官、農林水産事務次官などとして日本の農林水産業の発展に貢献された皆川芳嗣・農林中金総合研究所理事長が出席のもと開校式が開催されます。

## 県立森林大学校オープン

全国で類を見ない森林大学校であり、県と市がしっかりと連携して、森林・林業の次代のリーダーを育成し、兵庫、日本の森林林業・木材産業の振興、そして、宍粟の活性化、地域創生に寄与する目標に向かって、多くの市民の皆さんとともに素晴らしいスタートを切りたいと思います。これからも全力を傾注してまいります。

## 第335回定例県議会・一般質問に登壇

平成29年度県当初予算案などを審議する第335回2月定例県議会において一般質問（2月24日）を行いました。4項目6件にわたり質問いたしましたが、第1に「県立森林大学校の現状と展望」について井戸知事の見解を質しました。

市が学生寮として空き家を活用したシェアハウスを整備するなど県との協働で準備を進めていること、そして地元のみならず林業・木材業界等の期待の大きさを伝え、改め

て県市連携による大学校の運営、発展の取り組みを強調しました。

井戸知事は右記に紹介しています現状を報告す

## 連携次代の森林・林業リーダー育成

るとともに、次のように答弁しました。  
「即戦力となり、森林・林業の次代のリーダーとなる人材、地域貢献できることを育成する。また、学校運営協議会を設置し、4年内進路指導の充実について協議する。森林林業・木材産業の振興と地域の活性化に寄与する役割を果たすべく努力する。地元としてもご指導を願いたい」

知事の決意に対して最大限に協力をすることを伝えました。残る5問の主要な内容は4面に掲載しています。

## 井戸知事・皆川(元農林水産事務次官)名誉校長同席し、4月13日開校式

○平成29年度森林大学校入学状況

入学試験合格者内訳

	推薦			一般(前期)			一般(後期)			合計		
	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計
新卒者	4(1)	3	7(1)	3	1	4	1	-	1	8(1)	4	12(1)
既卒者	-	-	-	6(1)	3(1)	9(2)	1	-	1	7(1)	3(1)	10(2)
合計	4(1)	3	7(1)	9(1)	4(1)	13(2)	2	-	2	15(2)	7(1)	22(3)

○書きは女性

入学予定者出身地内訳

	県内						県外				合計
	阪神	東播	中播	西播	丹波	計	関東	大阪	中国	九州	
新卒者		2	3	2(1)	1	8(1)	1	2		1	4
既卒者	3(1)		1	3		7(1)			1		8(1)
合計	3(1)	2	4	5(1)	1	15(2)	1	2	1	1	20(2)

○書きは女性

宍粟市内の学校内訳：山崎高校4名（普通科1、森林環境科学科3）、伊和高校1名、山の学校1名

1年間、森林大学校として活用される  
一宮市民局第2庁舎

○森林大学校・規模等概要

運営 兵庫県  
設置学科 森林林業専攻科  
学年定員 20名（修業年限：2年）  
入学資格 高卒又は同程度、40歳以下  
名誉校長 皆川芳嗣氏  
特任大使 今井通子先生（森林セラピー・登山家・医師）

山崎高等学校
伊和高等学校
千種高等学校
山の学校
森林林業技術センター
龍野土木宍粟事業所
国見の森公園 (森林王国観光協会指定管理)
宍粟警察署 (17の交番駐在所)
そして新たに森林大学校です

# 森とともに生きるまち宍粟 ふるさとの未来に貢献する人材を育む

市内には、県内唯一の森林環境学科をもつ山崎高校があります。伊和高校では環境情報系類型（人間環境類型）を導入し、「ふるさと宍粟を支える」リーダーの育成に取り組んでいます。千種高校では千種中学校とともに県下初の連携型中高一貫校としてA（アクティブ）、B（ベーシック）、C（チャレンジ）の3つの類型を導入し、地域に根ざした教育を進めています。3つの県立高校に加え、森林・造園学習など自然を通して新たな試みがスタートします。そこで4校の取り組みを紹介します。

国づくり、地域づくりの根幹は人づくりであると主張し、教育の振興に全力を尽してきました。人口減少社会を迎へ、地域創生が県政の最重要課題となる中、県立高校・学校の魅力・特色づくりが層められています。市内4校においても平成29年度からそろって新たな試みがスタートします。そこで4校の取り組みを紹介します。



たが、ふるさと宍粟市（郡）は森とともに生きてきました。平成4年には「県民オアシスーしそう森林王国ー」の形成に関する協定を県と合意し、県民が豊かな自然とふれあい交流する場を創出し、開かれた緑の備が進んでいます。

平成27年3月には、県内初の森林セラピー基地の認定を受け、市では新たに癒しの森ガイドを育成して、森林空間を活用したヘルスツーリズムを展開しているのをはじめ、スポーツや四季折々のレクリエーションの場として多彩な取り組みを開拓しています。

一方、豊富な森林資源は木材生産の場でもあり、平成22年には関西圧指の大形製材工場である兵庫木材センターが市内で稼働しました。これにより、県内の素材生産量は稼働前の約17万立方メートルから、27年には約27万立方メートルに増加しました。まさに、森とともに私たちは生きています。今、国をあげて進められている地方創生を我がまち宍粟で成し遂げるには、森林空間を最大限に活かすことが重要だと考えています。その意味でも4月に開校する県立森林大学校のスタートを大いに期待しています。



## 山の学校 体験学習で生きる力培う

山の学校は、平成5年に「しそう森林王国」の宍粟市山崎町五十波に設立され、県内在住で比較的の社会や学校に馴染めない、又は不登校の男子15~20歳までが学ぶ、修学期間1年、全寮制の教育施設です。豊かな自然の中で、さまざまな体験学習や共同生活を通して、たくましく生きる力を培い、自信と夢と勇気をもって未来を拓く、こころ豊かな青少年を育成することを目的

### こころ豊かな青少年育成

としています。

開校以来、多くの若者が「元気・やる気・自信・笑顔」を手に入れ、在校中に高校卒業資格を取得して大学に進んだ者、立派な会社に就職した者など各地で活躍しております。

今年は森林大学校にも合格しました。私も生徒自身の入学式と修了式の時の成長ぶりに感動しております。



自然とともに生きる森の学習



千種高校は、平成22年から千種中学校とともに県下初の連携型中高一貫校として、A（アクティブ＝スポーツ、文化を通じた活動を豊富に体験することで、自主性や社会性を養い、自信を体得する）、B（ベーシック＝商業系の資格取得をめざして専門教育を実施する中で、何事にも意欲的に取り組む姿勢を培う）、C（チャレンジ＝公立大学や私立大学などへの進学をめざ

## 千種高校 県内初 給食開始 中高一貫教育生かし食育

し、将来の夢を実現する力を養う）の3つの類型において、地域に根ざした教育を進めている。4月からは中高一貫教育の一環として、継続的な食育という観点から、147校ある県立高校で初めて給食が始まります。

県職員派遣栄養教諭や宍粟市の理解を得て、ちくさ学校給食センターから配食いたします。



導入に先駆けた中学校での試行会

## 県立高校・学校の魅力・特色づくりが充実



伊和高校は、平成23年度より環境・情報系類型（人間環境類型）を導入し、校外学習や高大連携授業を契機とした課題研究等を通じて、主体的に探求する力や表現する力を育成してきました。「ふるさと宍粟を支える」リーダーを育てる類型として広く地域に認知されています。地域創生の取り組みが始まると、同校への期待が高まっていることから、従来の学びを発展させ、

### 地域創生を担う若者輩出

キャリア教育類型へと特色類型を4月から改編することになりました。



企業（製造、販売、サービス等）実習など実践的な教育活動を行っています

## 伊和高校 キャリア教育導入



山崎高校は、これまで人文・社会・自然科学を総合的に学び幅広い分野で地域に貢献できる人材を育成してきましたが、地域ニーズに一層応えるため、体験型の学習と大学教授等による専門的な講義を通して、将来地元の教員として、これまで以上に地域で活躍できる人材を育成することを目指に、教育系類型を4月から採用することにしました。

### 大学と連携、専門知識学ぶ

保・幼・小・中学校等との実習や交流を通して、教員としてのコミュニケーション能力や実践的指導力を高めるとともに、兵庫教育大学や兵庫県立大学との高大連携を図り、専門的な知識や技能を身につけています。



大学との連携の先行実施例。大学での受講①、学生との懇談②などが行われています

## 山崎高校 教育類型を採用

これまで人文・社会・自然科学を総合的に学び幅広い分野で地域に貢献できる人材を育成してきましたが、地域ニーズに一層応えるため、体験型の学習と大学教授等による専門的な講義を通して、将来地元の教員として、これまで以上に地域で活躍できる人材を育成することを目指に、教育系類型を4月から採用することにしました。



大学との連携の先行実施例。大学での受講①、学生との懇談②などが行われています



## 第335回定例県議会・一般質問から(2月24日)

### 社会基盤整備プログラムの改定

#### 地域課題やニーズ的確に捉え整備を

**春名** 地域創生の本格化にあたり、その基盤となる社会基盤の充実は不可欠であり、地域の課題やニーズを的確に捉えた上で計画的に進めていく必要がある。社会基盤整備プログラムの改定にどのような考え方で臨むのか。

**知事** 市町や地元の意見も十分に伺いながら事業選定作業を進め、地域の実情を反映したプログラムにする。例えば、宍粟香寺線宇原バイパスは地域づくりの進展状況など、事業を取り巻く環境の変化を把握して見直す。

### 子どもと女性の安全対策 体感治安向上へ取締り強化が必要

**春名** 刑法犯は減少しているが体感治安は改善されないとはいえない。子供や女性が被害者となる犯罪は未だ数多く発生している。取締り対策は。

**警察本部長**

初動捜査の徹底をはじめ、「先制・予防的活動」を推進している。体验型防犯教室、情報発信活動なども推進している。

今後とも、被疑者の徹底検挙に努めるとともに、自治体、地域等と連携を図り、安全確保に万全を期す。

### 特別支援教育の充実・推進

#### 中学から高校への効果的な引継ぎ

**春名** 特別な教育的支援を必要とする生徒の中学校から高校へと、円滑かつ適切に引き継ぐための仕組みの構築が重要だ。

**教育長** 西播磨地区ではガイドラインを作り、先行して実践している。4月から東播磨地区で試行する。その成果の評価、検証を踏まえて引継ぎの仕組みを構築して、全県下での本格実施をめざす。

### 県立高校の通級指導、適切に

**春名** 通常学級に籍を置きながら週に数時間、障害による困難を改善・克服するため別室で受ける特別指導である通級指導を適切に実施することが必要だ。

**教育長** 高校での通級指導が30年度から円滑に導入できるよう、諸準備を進める。

### 特別支援校卒業者の就労率向上さらに

**春名** 特別支援学校生徒を対象にした技能検定が来年度から本格実施される。就労率向上に期待する。

**教育長** 技能検定での上位級取得をめざした日々の指導や、実地での就業体験の機会を増やすことで本人・保護者の一般就労への自信と意欲を高め、一般就労率を全国平均並みに引き上げることをめざす。



特別支援学校生徒のビルクリーニングの実習

### 春名哲夫の活動日誌

2月1日	農政環境常任委員会会管内調査	但馬・丹波
2日	農政環境常任委員会会管内調査	但馬・丹波
3日	農政環境常任委員会会管内調査	但馬・丹波
4日	宍粟市歯科医師会総会(山崎町) 林業振興議員連盟管外調査(熊本県)	宍粟市歯科医師会総会(山崎町)
8日	MOA議員懇談会(西播磨県民局)	MOA議員懇談会(西播磨県民局)
9日	木材利用促進条例案協議(県庁議長室)	木材利用促進条例案協議(県庁議長室)
10日	政調理事会・一般質問(県庁)	政調理事会・一般質問(県庁)
11日	宍粟市駅伝大会(山崎町) 播磨西地区郵便局長会総会(山崎町)	宍粟市駅伝大会(山崎町)
12日	西播磨地域夢会議(たつの市)	西播磨地域夢会議(たつの市)
13日	西播磨県民局地域政策会議(西播磨県民局)	西播磨県民局地域政策会議(西播磨県民局)
14日	農政環境常任委員会(県庁)	農政環境常任委員会(県庁)
15日	子育て応援ネット全県大会(兵庫県公館) 一宮町役員県政報告会(一宮町)	子育て応援ネット全県大会(兵庫県公館)
16日	議員団総会(県庁)	議員団総会(県庁)
17日	議場コンサート、本会議・初日(県庁)	議場コンサート、本会議・初日(県庁)
20日	農政環境特定テーマ委員会(県庁)	農政環境特定テーマ委員会(県庁)
21日	障害福祉研究会(山崎町) 山崎町役員県政報告会(山崎町)	障害福祉研究会(山崎町) 山崎町役員県政報告会(山崎町)
22日	議員団総会、本会議(県庁)	議員団総会、本会議(県庁)
23日	知事、県当局との意見交換会・絆の会(県庁)	知事、県当局との意見交換会・絆の会(県庁)
24日	本会議・一般質問・春名哲夫(県庁)	本会議・一般質問・春名哲夫(県庁)
25日	伊和高校卒業式(一宮町)	伊和高校卒業式(一宮町)
26日	西播磨ブロック地域総合福祉大会(一宮町)	西播磨ブロック地域総合福祉大会(一宮町)
27日	千種町役員県政報告会(千種町)	千種町役員県政報告会(千種町)
本会議(県庁)	本会議(県庁)	本会議(県庁)

#### ■事務所のご案内

県政のご相談は、お気軽に県議会議員・春名哲夫事務所まで

〒671-2576 兵庫県宍粟市山崎町鹿沢 237-5 (HTOビル2F) TEL0790-63-0770 FAX0790-63-0760